

第2回 日本eスポーツ選手権大会 大会基本ルール

目次

1	はじめに.....	3
2	適用範囲.....	3
2.1	大会参加資格.....	3
2.2	国籍・居住地による制限.....	3
3	参加形式.....	4
3.1	参加登録の種類.....	4
3.1.1	個人登録.....	4
3.1.2	チーム登録.....	4
3.1.2.1	チームリーダー（マネージャー）.....	4
3.1.2.2	競技者.....	4
3.1.2.3	チーム.....	4
3.2	大会期間内の登録情報変更.....	5
4	全般.....	5
4.1	運営チームの指示.....	5
4.2	守秘義務.....	5
4.3	競技者の状態.....	5
4.4	賭博.....	5
4.5	競技者・第三者からの要求.....	5
4.6	配信・放送.....	5
4.6.1	配信の権利.....	6
4.6.2	競技者の義務.....	6
4.6.3	競技者画面の配信および録画.....	6
4.7	招待競技者.....	6
4.7.1	参加同意書.....	6
4.7.2	18歳未満の扱い.....	6
4.7.3	招待競技者の制限.....	6
4.8	Eメールによる連絡.....	6
4.9	ゲームによる年齢制限.....	7
4.10	ルールの正当性.....	7
4.11	ルール変更.....	7
4.12	大会の棄権.....	7
4.12.1	大会への不参加.....	7
4.12.2	大会の途中棄権.....	7
4.12.2.1	対戦時間前に棄権表明を運営チームへ伝えた場合.....	7
4.12.2.2	対戦時間前に棄権表明を行わなかった場合.....	7
5	大会当日の進行.....	8
5.1	対戦開始.....	8
5.1.1	時間の厳守.....	8

5.1.2	対戦の不戦敗	8
5.2	大会の進行	8
5.2.1	対戦組み合わせの決定	8
5.2.2	対戦結果の反映	8
5.3	対戦への異議	8
5.3.1	異議申し立ての権利	8
5.3.2	対戦結果への異議	8
5.3.3	不正行為の申告	9
5.3.4	申告への対応	9
5.3.5	不適切な異議申し立て	9
5.4	再試合	9
6	禁止事項	9
6.1	迷惑行為の例	9
6.2	競技者同士のトラブル	9
6.3	不正行為	10
7	違反行為に対する措置（ペナルティ）	10
7.1	ペナルティの段階	10
7.2	ペナルティの適用範囲	11
8	個人情報及び、その他本大会で収集する情報や著作権について	11
9	個人情報の取り扱い	11
10	免責事項	12
11	その他	12
12	更新管理	12

1 はじめに

大会基本ルール（以下、本ルール）は、一般社団法人日本eスポーツ協会（以下、JeSPA）が開催する全ての大会・予選（以下、本大会）を公平かつ円滑に進行するために定めたものである。大会やゲームタイトルごとに内容の異なるルール（以下、大会個別ルール）が定義された場合、大会個別ルールが優先される。本ルールおよび大会個別ルールは JeSPA の大会運営スタッフおよびその協力者からなる運営チーム（以下、運営チーム）により管理され、必要に応じて更新される。

2 適用範囲

本ルールは本大会への参加資格を有し、参加登録を行った者（以下、競技者）が対象となる。大会参加意思表示には JeSPA への会員登録が前提となる。競技者は本大会への参加登録を行った時点で本ルールの適用対象となる。

2.1 大会参加資格

JeSPA の定める競技者となるためには、以下のすべてに同意する必要がある。

1. 競技者は本規約に定める内容に従うこと。
2. 競技者は大会開催日当日に満 16 歳以上であること。満 18 歳未満の場合、保護者による同意書への署名が必要。
3. 競技者は e スポーツ、本大会、運営チーム、他の参加選手等の本大会に関わるものに対し侮辱する行為や信用を損なう行為および競技者としての品格を汚す行為等を行わないこと。
4. 競技者本人が申請を行い、氏名、性別、生年月日、住所などの情報を求められた場合、正確に届け出ること。
5. 競技者は本大会および関連する活動において撮影や収録、配信などが行われた場合、その肖像利用を JeSPA に対し許諾すること。
6. 競技者は競技中に着用する T シャツ、ジャージ、ユニフォーム、帽子、ヘッドセット等の身に着ける全てのモノについては公序良俗に反しない限り自由とするが、表彰式、インタビュー、記念撮影等の JeSPA の指定する特定の機会においては指定する衣類、ゼッケン等を着用すること。

なお、競技者が 6 項『禁止事項』に記載される内容を犯した場合、大会参加資格を失う場合がある。

2.2 国籍・居住地域による制限

競技者は国籍が日本国か、日本在住を原則とする。また、日本語での読み書き・会話が十分に行えなければならない。オフライン大会出場を伴う場合、競技者は日本国内に在住するか、オフライン大会期間に間に合うよう自費で日本国内まで移動する必要がある。

3 参加形式

3.1 参加登録の種類

大会への登録はすべて大会サイト上及び大会スタッフを通じて行われる。登録には個人登録およびチーム登録の2種類がある。

3.1.1 個人登録

個人登録形式の大会においては競技者自身が参加の登録を行う。大会サイトにて特定のサイトへ参加登録手続きを行い、自身の競技者名が掲載された時点で競技者として扱われる。

3.1.2 チーム登録

チーム登録形式の大会においては事前に大会サイト上及び大会スタッフを通じてチーム作成およびメンバー登録を済ませる必要がある。チーム登録には対戦を行う競技者、連絡を受けるチームリーダー・マネージャー、補欠競技者の全員を登録する。チーム登録が完了した状態で参加登録することで、チームに登録された競技者全員が本大会への競技者として扱われる。また、メンバーが他のチームと重複している場合、チーム全体に対しペナルティを科す場合がある。

チーム登録形式大会において競技者の役割について定義する。

3.1.2.1 チームリーダー（マネージャー）

チームのリーダーは大会運営チームからチームへ連絡を行う際の連絡担当者となる。リーダーは必ずしも試合に出場する必要は無く、連絡のみを担当するマネージャーがいる場合はマネージャーをリーダーとして登録しても構わない。リーダーは運営チームからの連絡に対し72時間以内に返信する必要がある。

3.1.2.2 競技者

参加したチームに登録されている競技者のみがチームメンバーとして認識され、大会に参加することができる。当日締め切りの大会では、大会登録締め切り時点で参加チームに登録されている選手が出場資格を持った競技者となる。

3.1.2.3 チーム

チームには固有の識別情報（以下、チームID）が付与され、賞金や賞品、大会への参加権、シード権、活動履歴など大会が提供するものはすべてチームに対して与えられる。チームメンバーの変更は大会期間以外であれば常に可能で、メンバーが全員入れ替わってもチーム自体に変更が無ければ同じチームとして扱われる。

3.2 大会期間内の登録情報変更

本ルールの適用期間は登録募集開始から大会終了までとし、それを大会期間と呼ぶ。大会期間内において、開催日の大会開始時刻までの間は登録情報の変更を行うことができる。ただし以下の場合には原則として変更を認めない。

1. 大会が複数日に渡る場合の大会開始時刻以降
2. チームとして大会に招待を受けた場合
3. 海外大会への遠征など、JeSPA が開催する大会以外の大会に派遣を行う場合

4 全般

本章では本ルールおよび大会サイト、大会の提供する配信などに関するルールを記載している。

4.1 運営チームの指示

運営チームが大会期間中に競技者に対し作業や行動を指示した場合、競技者はそれに速やかに従う必要がある。従わない場合はペナルティを課す場合がある。

4.2 守秘義務

運営チームに対する個別の問い合わせやその対応内容、議論、運営チームとの会話などは非公開とする。競技者がこれらの内容公開を希望する場合は、発言者および運営チームの理解と承認を得たうえで実施する。

4.3 競技者の状態

過度の飲酒や睡眠不足など常識的な行動を取れない状態で参加することを禁止する。

4.4 賭博

本サイトの行う試合内容および結果に対し、運営チーム以外が現金やそれに代わる品物を用いて賭博を行う場合、運営チームからの許諾が必要となる。

4.5 競技者・第三者からの要求

本大会は大会内容やルール、表明、サイト、記事、配信、運営チームの言動などあらゆる内容について競技者や第三者からの要求を受け付けない。情報源の開示やルールや裁定の制定理由、記事の証拠、公開していないログなどあらゆるものに対し個別および公式での要求には応じない。

4.6 配信・放送

本大会の配信や放送は JeSPA の持つ権利の一部であり、競技者は自らのプレイや肖像権を含めすべてが配信や放送されることがある。

4.6.1 配信の権利

本大会で開催される試合の配信はすべて運営チームおよび運営チームが委託した団体・個人のみが配信できる。委託団体および個人の配信も本大会の持つ権利に含まれている。配信ソースの第三者への提供や動画作成依頼など、配信および映像権利の運営は競技者の許諾無く実施される。

4.6.2 競技者の義務

本大会で行われる対戦に対し運営チームは予告無しに観戦・配信を行う場合があり、競技者は運営チームによる試合の配信を拒否する事はできない。また競技者は競技に影響を及ぼす場合、自身が対戦している配信を視聴してはならず、配信が始まった場合は速やかに視聴を停止する必要がある。

4.6.3 競技者画面の配信および録画

競技者が大会参加中に自分自身のプレイを配信や録画し公開する場合、運営チームの許可を得る必要がある。無断使用が発覚した場合は運営チームの差し止め依頼に従うものとする。

4.7 招待競技者

各ゲームの大会ルールに従い東京・大阪予選で規定の要件を満たし決勝大会へ招待された競技者に対し、JeSPA は別途定める規定に従い交通費および宿泊場所を提供する。また JeSPA 規定の交通費、宿泊費を超える費用が必要な場合は差額を競技者本人が負担することとする。交通費は国内交通費に限り、経路も JeSPA と合意する必要がある。精算には一般社団法人日本 e スポーツ協会宛ての手書き領収書を必須とし、これが無い場合は交通費を提供しない場合がある。

4.7.1 参加同意書

招待競技者は、JeSPA の定める同意書に同意し署名する必要がある。

4.7.2 18 歳未満の扱い

18 歳未満の競技者は参加同意書に加え、保護者からの同意を得る必要がある。

4.7.3 招待競技者の制限

招待競技者は大会期間中、常に大会会場に滞在する必要がある。遅刻や無断での外出があった場合、招待競技者としての資格を失奪し、かかった費用の提供を拒否する場合がある。

4.8 E メールによる連絡

運営チームは過去の大会にさかのぼって大会や大会の紹介、配信やキャンペーンの案内、情報連絡などの目的で過去の競技者に対し E メールによる連絡を行う場合がある。また、E メール以外での連絡手段は非正規の方法とし、いかなるログや記録があっても連絡有無の証左として扱わない。

4.9 ゲームによる年齢制限

ゲームが規定する年齢制限を下回る競技者は、そのゲームの大会への参加資格を持たない。また、オンライン大会への参加出場が伴う大会では、最初の対戦時に満 16 歳以上である必要がある。

4.10 ルールの正当性

本ルールや大会個別ルールに日本の法律に対する違法性が認められた場合、該当するルールを無効とする場合がある。また本ルールを適用することで著しく公平性を欠く場合や著作権者の定める利用規約に違反するなど、発生した状況にルールが適合していない場合、その理由の公表と共にルールを変更する場合がある。

4.11 ルール変更

運営チームは予告無しにルールの追加、削除および変更の権利を持つ。運営チームはルールに記載されていないこと、またはルールに記載されていてもルールを超えた裁定が必要と判断した場合は公平性に準じた判断を行う。

ルールの変更はサイトを通じて告知される。更新した時点で適用となり、例え進行中の大会や予選があっても競技者はそれに従わなければならない。

4.12 大会の棄権

大会進行中に対戦を行わなかった場合、その内容により以下の措置が取られる。

4.12.1 大会への不参加

参加権を持つ競技者やチームに対し、運営チームは大会への参加を打診する場合がある。この権利を行使しなかった場合を大会への不参加と呼び、特にペナルティは適用されない。回答期間内であれば一度参加を表明したうえで不参加に変更しても、大会への不参加として扱われる。

4.12.2 大会の途中棄権

4.12.2.1 対戦時間前に棄権表明を運営チームへ伝えた場合

個人登録による個人戦やチーム登録によるチーム戦の大会であれば不戦敗として扱い、ペナルティ 1 を科す。個人登録によるチーム戦の大会であれば不戦敗とせず、他の競技者を募集し、棄権競技者の代理とする場合がある。この棄権表明は対戦時間前に運営チームから明確な対応があって初めて受理される。

4.12.2.2 対戦時間前に棄権表明を行わなかった場合

個人登録では個人、チーム登録の大会であればチーム登録した競技者およびチームの不戦敗として扱い、ペナルティ 2 が科される。ただし天災など避けられなかった理由がある場合、その理由を運営チームに伝えることでペナルティを免除される場合がある。

5 大会当日の進行

5.1 対戦開始

5.1.1 時間の厳守

対戦開始時間 10 分前には所定の準備を済ませ、対戦開始時間に試合がスタートできるよう準備すること。試合前に競技者から遅れる旨や機材不具合などの連絡があった場合、10 分間の猶予時間が設けられる。

5.1.2 対戦の不戦敗

対戦開始時間前に連絡が無かった、もしくは 10 分間の猶予時間を過ぎても対戦が行われなかった場合はその対戦を不戦敗として扱う。複数回戦う形式の場合はその対戦のみを不戦敗として扱い、次の試合開始時刻に再度確認を取る。

5.2 大会の進行

5.2.1 対戦組み合わせの決定

登録を締め切った時点で抽選により決定される。対戦表のあらゆるシードはルールの告知により事前に伝えられたもののみとする。

5.2.2 対戦結果の反映

対戦結果はその対戦に勝利した競技者が報告する。競技者によるスクリーンショットなどが求められる場合、大会が指定した結果報告が無い場合は対戦を無効とする場合がある。

5.3 対戦への異議

対戦への異議申し立ては 24 時間を上限とし、それ以降の異議申し立ては無効とする。オフライン大会に限り、大会終了時間までを異議申し立ての受付時間とする。

5.3.1 異議申し立ての権利

チームや競技者に対する異議は対戦相手からのみ受け付け、第三者からの異議申し立てに対しては返答および見解表明などは行われぬ。チームのメンバーとして登録されている競技者は対戦相手に含まれる。

5.3.2 対戦結果への異議

入力された対戦結果に問題がある場合、対戦した競技者は運営チームへ異議を申し立てることができる。対戦結果を覆すような内容に関しては必ず次の試合が開始される前に異議を申し立てる必要がある。

5.3.3 不正行為の申告

競技者は発見した不正行為の申告はできるだけ速やかに実施し、スクリーンショット、動画、リプレイ、状況証拠など第三者からも判断がつく方法によつての情報提供を行うこと。

5.3.4 申告への対応

次の試合が予定されている状態での申告に関しては、運営チーム判断のもと調査をする場合がある。この場合、試合時間の遅延などが発生するなどの影響が想定される場合は、運営チャットでその理由と共に申告内容の周知が行われる。

5.3.5 不適切な異議申し立て

根拠が不十分な異議申し立てに対し、異議を申し立てた競技者やチームに対し不戦敗などのペナルティを適用する場合がある。

5.4 再試合

ルールにより再試合が行われる場合、対戦競技者全員の合意が必要となる。また、再試合を開始した時点で再試合前の対戦結果はすべて無効となり、その後の大会に一切の影響を与えない。

6 禁止事項

本大会では、以下のいずれかに該当するものと運営チームにより判断される内容を含む発言、表現、その他各種行為を、他の競技者への迷惑行為として禁止する。これらの迷惑行為がなされていると判断された場合、運営チームは大会失格や追放などの措置をとる場合がある。多くの競技者がプレイしている本大会において、参加する他競技者の環境や状況、感情を読み取ることは難しい場合があるため、相手との無言の了解を前提とした行動は危険であるため注意すること。

6.1 迷惑行為の例

1. 民族・人種・身体・宗教などに関する差別的な内容。
2. 特定の宗教・思想・政党などの勧誘、広告、その他の活動など。
3. 卑猥な表現などの性的な内容。
4. 暴力的またはグロテスクな表現など、他の競技者を含む一般の方に不快感を与える内容。
5. 特定の人物・団体に対する差別、中傷（悪口）など。
6. 上記のいずれかの同義語（異なる表記で同じ意味の言葉）や同音語（異なる意味で読み方が同じ言葉）、暗喩・スラングなど実質的に同じものと判断される内容。

6.2 競技者同士のトラブル

本大会では、以下のいずれかに該当するものと運営チームにより判断される内容の特定の競技者間での発言、表現、その他各種の行為を「競技者同士のトラブル」として取り扱う。それらの行為に対し、原則と

して運営チームが仲裁などの対応・関与を行うことは無い。

ただし、運営チームによりあまりに悪質であると判断された場合、またはその他の違反行為に該当する場合については、大会失格および追放などの措置をとることがある。

1. 特定の競技者間での差別、中傷(悪口)、つきまとい、おどしなど。
2. 上記のほか、その行為の対象となった特定の競技者を困惑させる内容。
3. 上記の同義語（異なる表記で同じ意味の言葉）や同音語（異なる意味で読み方が同じ言葉）など、暗喩・スラングなど実質的に同じものと判断される内容。

6.3 不正行為

本大会において、チートツールの使用は、他の多くの競技者に迷惑をかけるだけでなく、ゲームバランスを崩すおそれがあるため、以下のいずれかに該当するものを不正行為として堅く禁止する。

1. ゲームクライアントまたはゲームサーバーで生じる不具合を利用する行為。
2. ゲームクライアントを解析・改竄する行為。
3. チートツールを使用するなどして、自己や他の競技者のゲームプレイを有利または不利に進めたり、ゲーム内キャラクターなどのゲームデータを改変したりする行為。
4. 八百長やアブユーズ行為と呼ばれる、複数の競技者が談合して、あるいは個人が複数の PC を用いて、勝率やキル数など、試合内容・戦績を操作し、不正を行う行為。
5. 上記のいずれかの行為につながる外部ツールを作成・販売・推奨・勧誘・頒布する行為。

これらの不正行為がなされていると判断された場合、運営チームは 5. 「違反行為に対する措置」に定める措置をとる場合がある。また不正行為を取ることを示唆したり、不正行為を連想させたりする表現を個人のブログや Twitter、競技者名、登録名などにより表明し、それが発覚した場合、不正行為の予告とし 5. 「違反行為に対する措置」に定める措置をとる場合がある。

7 違反行為に対する措置（ペナルティ）

本ルールに違反する競技者の行為が運営チームにて認められた場合、運営チームは該当する競技者に対し、違反行為に応じたペナルティとして、以下に記載する措置をとる。これらの措置にもかかわらず違反行為の停止・改善が認められない場合や、運営チームの指示や要請、注意・警告にすみやかに従わない場合には、ペナルティの段階を上げる場合がある。

なお、これらの措置に関する解除の申告や異議の申し立てに対して、運営チームは回答を行う義務を負わないこととする。

7.1 ペナルティの段階

ペナルティ 1. 注意・警告

該当する競技者に対して注意または警告を通知する

ペナルティ 2. ペナルティ

開催中もしくは開催予定の大会において、該当する競技者を失格とする

ペナルティ 3. 大会参加制限

JeSPA の定める一定期間において、該当する競技者に対し JeSPA が主催、共催する大会への参加を停止する

ペナルティ 4. 追放

該当する競技者に対し、JeSPA が主催、共催する大会への参加を無期限に停止する

7.2 ペナルティの適用範囲

ペナルティの適用対象はペナルティ発生時点のチームおよび所属競技者全員となる。チームメンバーが変わっても同チームへのペナルティは適用され、チームから脱退しても当時所属していた競技者はペナルティが適用される。ペナルティの適用は大会期間の行動に限定されるが、チートツールの利用、詐欺行為、暴言、暴露行為などの悪質な行動については大会期間以外の行動に対してペナルティを科す場合もある。

8 個人情報及び、その他本大会で収集する情報や著作権について

当ドキュメントおよび本大会内で提供される文書、映像、画像、配信、動画、ソフトウェアなどの著作権は JeSPA 又は JeSPA が権利を許諾する第三者に帰属する。

事前申告による非営利目的で個人的な使用に限り、JeSPA の著作権表示が付されることを条件とし利用を許可する場合がある。

9 個人情報の取り扱い

1. JeSPA は個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し、以下の目的においてのみ個人情報を取り扱う。取得した個人情報を資格審査、大会情報の編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他大会運営及び運営に必要な情報連絡等に利用する。また、主催・後援媒体等による報道目的の取材や、協賛・協力・関係団体によるサービスの提供等に利用することがある。
2. 本大会の映像・写真・記事・個人記録等は、JeSPA が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の

媒体に掲載することがある。

3. 競技者は本大会に関する著作権、肖像権その他一切の知的財産権を、大会参加の時点で JeSPA に無償にて譲渡するものとする。競技者は JeSPA または第三者による知的財産権の利用につき、著作者人格権を行使しないものとする。

従って、JeSPA は競技者に事前に通知することなく、また、改めて承諾を得ることなく、JeSPA の判断により無償かつ自由に、JeSPA または第三者をして、本大会に関する著作物等を自由に配信、複製、加工、削除、編集、頒布、二次著作物の作成その他の方法で利用することができるものとする。

10 免責事項

1. 競技者は自己の責任において本大会に参加するものとする。JeSPA は競技者または第三者に対して、本大会の内容、および本大会への参加を通じて得られる情報の内容について、その完全性、正確性、確実性、有益性などについて、一切の責任を負わないものとする。
2. 競技者は、予選へオンラインもしくはオフラインにて参加するために必要なあらゆる機器および通信手段（以下「利用環境」）や会場までの移動などを自己の責任と費用において整備するものとし、JeSPA は競技者の利用環境について一切関与せず、また一切の責任を負わないこととする。
3. JeSPA は本大会に関し競技者間または競技者と第三者との間で生じたトラブル（違法又は公序良俗に反する行為の提案、名誉毀損、侮辱、プライバシー侵害、脅迫、誹謗中傷、いやがらせなどを指す。また、これらに限らない）について、一切の責任を負わないものとする。
4. JeSPA は本大会への参加または参加できなかったことに関して、競技者がいかなる損害を受けた場合にも、一切の責任を負わないものとする。
5. JeSPA は競技者による本大会へのご参加により、第三者に対し損害を与えたことに起因する場合を含む、第三者との間で生じた紛議には一切の責任を負わないものとする。
6. JeSPA は、競技者に事前の告知なく、JeSPA の独自の判断により、本大会の内容を変更、または本大会の実施の中断、または終了する場合がある。なお、本大会の変更、中断、終了等が生じたことにより競技者に損害が発生しても、JeSPA では一切の責任を負わないものとする。

11 その他

規約で定めていない事項に関しては、JeSPA が当事者と誠意をもって協議するものとする。

12 更新管理

2017年2月10日

1.5版